



第 2 週

自分と違う相手の  
理解に努める

相手を理解しようと努力することは、より良い人間関係を築くための第一歩です。そのためには、まず「人は一人ひとり、違った価値観を持っている」との認識を持つ必要があります。

そうした認識があれば、たとえ相手と意見が食い違ったとしても、それを当然のこととして、穏やかに受け止めることができるのではないのでしょうか。ここからじっくり話し合うことで、自分と相手の違いがどこにあるのかを探り、少しずつ理解を深めることができるようになるでしょう。

それは信頼や絆を強めていく上でのステップです。相手を知れば知るほど、その人に対する思いやりの心がはたらくようになっていくのではないのでしょうか。



MEMO

メモ

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

第 1 週

思いやりに満ちた  
職場づくりを

「今日は調子が良さそうだね」  
「仕事を抱え過ぎてない？ 手伝おうか」  
職場の仲間からこんな言葉を掛けられたら、うれしく感じられることでしょう。それは、相手が普段からこちらのことを気づかってくれていることが感じられるからではないでしょうか。

そんな思いやりの深い相手に対しては、こちらも「この人に喜んでほしい」「この人が困っているときは協力しよう」と思うものでしょう。

仕事は自分一人でするものではありません。思いやりの心で助け合える関係を周囲の人たちと築くことが大切でしょう。そうすることで、私たちの職場生活は、どんなに充実したものになるのでしょうか。



MEMO

メモ

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



## “ 週初めのミーティングで「学び」と「気づき」をシェア ”

毎日の生活の中で

こんなことを意識してみませんか？

メモ欄は週間目標の記入等にご活用ください



社員教育へのご活用は  
こちらから

### 第 4 週

## 未来世代への プレゼント

SDGs(持続可能な開発目標)が注目される今日、地球環境問題を含めた世界共通の課題について真剣に受け止め、未来世代に配慮した事業活動を行う企業だけが生き残っていくといわれています。自社の利益のみを追求するのではなく、社会的な課題にも関心を寄せ、より良い未来を築いていく。その意味で、今後は「三方よし」が仕事をする上でのキーワードになるのではないのでしょうか。

SDGsは企業としての取り組みが求められるだけでなく、私たち一人ひとりが考えるべき課題でもあります。例えば今、各家庭でも、少しでもゴミの再資源化への協力を進めていけば、一人ひとりの小さな努力が、やがて未来世代への大きなプレゼントとなることでしょう。



MEMO

メモ

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

### 第 3 週

## 「第三者」にも 配慮する

目の前にいるお客様に喜んでいただけるように努力することで、自分も相手も満足する結果が得られるのは、素晴らしいことです。しかし、その陰で不利益を被る「第三者」はいないでしょうか。

仕事には、上司や同僚をはじめ、仕入先や協力会社など、多くの人関わっているものです。その全体に配慮する視点も必要でしょう。

「第三者」への配慮を習慣づけると視野が広がり、仕事上の人間関係だけでなく、自分が住んでいる地域社会などにも目を向けることができるようになります。このように、自分・相手・第三者の立場に配慮する「三方よし」こそが、より良い「思いやり」といえるのではないのでしょうか。



MEMO

メモ

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---